

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催
第7回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和5年2月11日～12日、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催の『第7回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム』をオンラインにて開催しました。

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムとは、米国で開発されたELNECのプログラムの日本版で、エンド・オブ・ライフ・ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得のための体系的な教育プログラムです。

今回は、院外から4名、当院から3名の専門・認定看護師をファシリテーターとして迎え、山口県内の地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定領域がん診療連携推進病院、宇部・小野田・美祢圏域の経験年数3年以上の看護師11名が本教育プログラムを受講しました。

2日間の研修では講義だけでなく、グループで行うケーススタディ、看護師役・患者役・観察者役を交替で演じるロールプレイも行い、患者さんご家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを包括的に学習しました。

オンラインで2日間に渡る長時間の研修でしたが、真剣に講義を聴講し、グループワークやロールプレイでは、活発な意見交換が行われ、参加者の意欲の高さを感じることができました。

参加者の方々からは、「講義で学んだことをグループワークやロールプレイで実践できて、とても良い学びになった。」「参考資料もたくさんついているので、困ったときに参考にしたい。」「日頃の自分の看護の振り返りもでき、改善点や今後の取り組みに必要な内容ばかりで、明日から頑張ろうと思える研修だった。」「グループワークで色々な人の話を聞いてリフレッシュできた。」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

本プログラムは来年も開催予定です。エンド・オブ・ライフ・ケアを実践されている皆様のご参加をお待ちしております。

<当日の様子>

